

工技センター

「徳島発」LED紹介

最新技術 応用商品 常設展示場オープン

徳島市の県工業技術センターに25日、LED製品の常設展示場が開設された。県では、県内のLED関連企業に新技術・新商品の発表の場を提供し、販路拡大につなげてもらう考えた。

無料で、展示期間は協議して決める。
展示第1弾として、徳島市に事業所を置く建築設備機器販売の宮地電機（高知市）が6個のブースを使い、LED照明器具約20点を出品。停電時でも2晩点灯する防災ライトや、商品の色を鮮やかに見せるスポット照明などが訪れた人の目を引いていた。同社の展示は2月末まで。

展示場所はセンター1階のテクノフロアで、広さ約500平方メートル。固定ブース（幅3・6メートル、奥行き2・7メートル、高さ2・4メートル）と、キャスター付きの可動式ブース（幅3・6メートル、奥行き1・8メートル、高さ2・4メートル）を6個ずつ設けた。使用料は

「LEDバレイ構想ネクストステージ行動計画」



県工業技術センターにオープンしたLED
応用製品常設展示場—徳島市

の二環。昨年11月には、東京・新宿に同様の展示場をオープンしている。
（湯浅翔子）
県工業技術支援本部の豊田耕司本部長は「県内LED関連企業の攻めの販売戦略を支援する場であり、積極的に活用していただきたい」と話している。

徳島新聞 平成24年1月26日
木曜日 朝刊掲載